

〔第2号議案〕

令和4年度事業報告（案）について

1 実行委員会総会および幹事会（書面）の開催

(1) 総会

● 実行委員会第9回総会の開催

書面決議日：令和5年3月20日（月）

内 容：令和3年度事業報告（案）および収支決算（案）

令和4年度事業報告（案）および収支決算（案）、実行委員会の解散 等

(2) 幹事会

● 第8回幹事会の開催

書面決議日：令和5年2月22日（水）

議決権の行使：19名

内 容：第9回総会に諮る案件の事前審議



総合リハーサルの様子

2 大会開催前の取組

(1) リハーサルの実施

出演者、実施本部員・協力員等のリハーサルを実施。

区分	時期	場所	参加者	内容
式典リハーサル	4月9日(土)	鹿深夢の森	出演者(介添者) 実施本部員	式典部分のリハーサル
総合リハーサル	4月24日(日)	鹿深夢の森	実施本部員・ 協力員、出演者	全体通しリハーサル、 車両・参加者誘導、接遇研修、 非常時訓練 他
荒天会場 リハーサル等	5月21日(土)	あいこうか 市民ホール	出演者(介添者) 実施本部員	会場確認および説明
前日リハーサル	6月4日(土)	鹿深夢の森 植樹会場	実施本部員・ 協力員、出演者	全体通しリハーサル、 車両・参加者誘導、接遇研修、 非常時訓練 他

(2) 苗木の出発式

天皇皇后両陛下に東京会場にてお手植えを賜る苗木について、東京会場への出発式を実施。

＜開催日＞ 令和4年5月30日（月）

＜場 所＞ 滋賀県大津合同庁舎玄関前

＜出席者＞ 琵琶湖環境部長、次長、全国植樹祭推進室長、滋賀県山林種苗協同組合の皆様



3 第72回全国植樹祭開催実績

(1) 第72回全国植樹祭

- <開催日> 令和4年6月5日(日)
- <式典会場> 鹿深夢の森
- <招待者記念植樹会場> 鹿深夢の森、比叡山(大津市)、みなくち子どもの森(甲賀市)、市原にこにこの森(東近江市)
- <サテライト会場> えきまちテラス長浜(長浜市)、琵琶湖博物館(草津市)、忍の里プララ【甲賀市設置】
- <一般植樹会場> びわこ地球市民の森(守山市)、森林公園くつきの森(高島市)、きゃんせの森(米原市)
- <参加者数>

参加区分	参加者	式典参加者数
招待者 合計	943人	3,055 人
本部員・協力員 (実施本部員・出演者・運営ボランティア等) 合計	2,112人	
サテライト会場参加者 合計	11,197人	—
一般植樹会場参加者 合計	674人	—
総計	14,926人	3,055 人

<開催内容> ※詳細は記録誌を参照

- ① 招待者記念植樹 33種 2,260本
- ② 式典 イントロダクション、プロローグ、記念式典、エピローグ
- ③ サテライト会場 式典中継映像の放映、音楽イベントやブース出展、体験イベントや木育のミニテーマパーク、苗木の無料配布
- ④ 一般植樹会場 植樹イベントの実施
(地球市民の森：300本、森林公園くつきの森：300本、きゃんせの森：70本)

<会場整備状況>



お野立所



招待者席



飾花



おもてなし広場(ウェルカムボード)



東京会場



お鍬・お鍬立て

<開催状況>



招待者記念植樹（鹿深夢の森）



招待者入場



おもてなし広場



おもてなし弁当



招待者記念品例



プロローグ



代表者記念植樹



天皇皇后両陛下 お手植え・お手播き



森林づくりへの誓い



大会テーマの表現（式典会場・東京会場）



グランドフィナーレ



一般植樹会場（くつきの森）



サテライト会場（えきまちテラス長浜・琵琶湖博物館）



(2) 作品御覧・御懇談

<開催日> 令和4年6月5日(日)

<会場> 甲賀市立かふか生涯学習館

<内容>

① 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール等入賞作品御覧

東京吹上御所とかふか生涯学習館をオンラインでつなぎ、天皇皇后両陛下に大会ポスター原画および国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞作品を御覧いただきながら、制作者と御懇談を実施。

② 令和3年度緑化功労者等との御懇談

天皇皇后両陛下と、緑化功労表彰者の代表者等との御懇談をオンラインで実施。

<開催状況>



作品御覧

御懇談

(3) CO₂ネットゼロへの取組

① CO₂排出抑制

しがCO₂ネットゼロ”の大会を目指して、大会で排出されたCO₂をオフセットするための募金活動を実施したほか、大会において必要な電力の一部を電気自動車から供給するなど、CO₂の削減に取り組んだ。

※募金状況 31,247円(令和4年5月3日終了)

② 森林吸収J-クレジットによるCO₂オフセット

大会の開催に伴い排出された温室効果ガス約33t-CO₂について、植樹活動やJ-クレジットの寄付および購入により実質ゼロとした。

③ 「滋賀プラスチックごみゼロ・食品ロス削減宣言」

ワンウェイプラスチックの使用を削減し、当日に消費できなかった食品をフードドライブに寄付するなどすることで、食品ロスゼロを達成。



大会で電源を供給する日産リーフ



J-クレジット購入記念証



カートカン

4 広報啓発活動および記念事業等の実施

(1) お野立所・木製品の再利用

お野立所の床材に利用されていた CLT (Cross Laminated Timber: 直交集成材) は、2025年に開催予定の「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会」で使用される「彦根総合スポーツ公園陸上競技場 (平和堂HATOスタジアム)」の正面エントランスの壁へと再利用。

木製ベンチ等の木製品は、県内の学校、県有施設、後年度開催県等に提供し再利用。



(2) お手植え苗木の帰郷報告

天皇皇后両陛下に東京会場にてお手植えを賜った苗木が滋賀県へ帰郷したことを知事へ報告するため、苗木のお帰り報告式を開催。

<開催日> 令和4年6月8日(水)

<場所> 滋賀県公館玄関前

<出席者> 知事、琵琶湖環境部職員

<内容> 知事へ大会の終了と東京会場の様子、お手植え苗木や使用された木製品の帰郷を報告



(3) 秋のポスト全国植樹祭

第72回全国植樹祭が開催されたことを記念し、(公財)イオン環境財団様との官民協働による植樹等の森づくり活動を実施。

<開催日> 令和4年10月23日(日)

<場所> 鹿深夢の森(開会式)、滋賀県油日林木育種場(植樹活動)

<出席者> 知事、県議会議長、イオン株式会社執行役副社長、公益財団法人滋賀県緑化推進会理事長ほか

<内容> 開会式、クヌギ・コナラ・アカマツ・スギなどの植樹



開会式

植樹活動

(4) 開催記念碑除幕式

第72回全国植樹祭開催記念碑を、式典会場であった鹿深夢の森に設置。記念碑には、三日月知事揮毫の大会テーマが刻まれた。

<開催日> 令和4年10月23日(日)

<場所> 鹿深夢の森

<出席者> 知事、県議会議長、甲賀市長、
甲賀市議会議長ほか

<内容> 開催記念碑の除幕、天皇皇后両陛下お手
植え苗木のお披露目



(5) 記録誌および記録映像の作成

本大会開催の意義を末永く後世に伝えるため、記録誌および記録映像を1,200部制作し、実行委員会委員・幹事のほか、出演者、出展者、県内市町等関係先に配付。

(6) メモリアル展示

東京会場にて天皇皇后両陛下が使用されたお鋤、水口細工のお絞受け、お種入れ・盆等の木製品を展示。

<期間> 令和4年8月2日～令和5年3月23日(予定)

<場所> 甲賀市立かふか生涯学習館



(7) 広報啓発活動の実施

① 公式ホームページ・各種SNSによる情報発信

② 広報誌・新聞・テレビ等による情報発信

- ・植樹祭だより「緑のしずく」 第5号(4月)
- ・植樹祭だより「緑のしずく」 感謝号(10月)
- ・京都新聞 タブロイド朝刊折込み(6月4日発行)
- ・リビング滋賀 紙面広告(6月4日発行)
- ・びわ湖放送 テレビCM放送(5月27日～6月3日)

③ びわ湖放送および県公式Youtubeでの式典の生中継

④ その他

- ・鉄道各駅でのポスター掲示
JR大津駅および草津駅では連張り実施
- ・県内5カ所でのカウントダウンボードの掲示



植樹祭だより「緑のしずく」 感謝号



京都新聞 タブロイド朝刊折込み